

土木構造物の維持管理技術研修会

「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2024」

－ 第25回技術研修会 発表技術の募集案内 －

主催：一般社団法人日本構造物診断技術協会
構造物診断士会

一般社団法人日本構造物診断技術協会 構造物診断士会では、「調査・診断/補修・補強 “ニューテクの今”2024」と題する技術研修会を開催します。

つきましては、皆様方が保有される鋼構造物あるいはコンクリート構造物の維持管理に関する技術を研修会で紹介・発表していただきたく募集しますので、下記の要領にてご応募ください。

当会では、技術力向上の一助と実務者相互の情報交換のために、コンパクトな技術交流の場を提供することを目的として、2011年に初回研修会を開催したところ、多数の方々にご参加いただき、好評を得ることが出来ましたので、この行事を“ニューテクの今”と題してシリーズ化し、これまで24回開催してきました。皆様方が保有される技術を紹介していただき、販売および普及の場として活用していただければ幸甚に存じます。この研修会は土木学会継続教育制度 CPD プログラム(建設系 CPD 協議会に認定)の認定を申請します。また、発表技術資料は協会ホームページに掲載いたします。

記

研修会開催日時：2024年5月14日(火) (詳細は別途案内)

研修会開催場所：埼玉県 川口駅前市民ホール フレンジア (JR 川口駅に隣接)

発表技術内容：鋼構造物およびコンクリート構造物を対象とした

- ① 調査・点検技術分野 ② 診断技術分野 ③ 補修技術分野
- ④ 補強技術分野 ⑤ モニタリング技術分野 ⑥ 維持管理計画技術分野

発表技術の選考：発表技術の応募件数が多い場合には、所定数を構造物診断士会にて選考しますことを、あらかじめご了承ください。本研修会は今後も継続的に実施しますので、今回の選考にもれた応募技術は、次回以降の優先候補とさせていただきます。

発表の形態：① 1件当りの発表時間は、20分を予定しています。

② 上記発表とは別に紹介技術に関する資料の配布や模型・実物によるデモンストレーション・実演を会場内のブースにて実施してください。

③ 聴講者は約100名を予定しています。

④ 研修会では保全に関する著名な方による「特別講演」も実施します。

発表の応募締切：① 発表技術の応募申込締切日は2024年1月末です。

② 発表要領は、採用された方に改めて連絡いたします。

申込方法：添付の発表申込書に必要事項を記入してメールにてお申し込みください。

※ 発表技術1件につき発表・展示協力費として1万円(発表者1名の聴講参加費を含む)のご協力をお願いいたしますので、ご了承ください。

※ 次ページに過去2回分の発表状況を添付します。

以上

＜“ニューテクの今”過去2回分の発表技術＞

第23回 “ニューテクの今”2022		2022年5月18日開催
紹介技術	(1)	球状黒鉛鋳鉄の大気腐食特性及び土木構造物への適用 日之出水道機器株式会社
	(2)	OSMOS モニタリングシステム 日揮株式会社
	(3)	インフラ維持管理における AI と画像処理技術の今後の活用 ～コンクリート構造物点検支援アプリ「SwallowAI」～ 株式会社ニコンシステム
	(4)	プレキャストボックスカルバートによる橋梁リニューアル工法 昭和コンクリート工業株式会社
	(5)	橋梁下部工モニタリング技術 長野計器株式会社
	(6)	Dr.Bridge (AI を活用した橋梁劣化・健全度判定支援システム) 株式会社日本海コンサルタント
	(7)	エコクリーンハイブリッド工法 ヤマダインフラテクノス株式会社
講演	特別講演：「維持管理からイジカンリへ」～これからのインフラの守り方～ 日経 BP 日経クロステック編集部 日経コンストラクション編集長 眞鍋政彦	

第24回 “ニューテクの今”2023		2023年5月18日開催
紹介技術	(1)	低弾性ラテックス改質超速硬コンクリート CPJ-L を用いた道路橋床版の長寿命化 ショーボンド建設株式会社
	(2)	アルミ合金製常設足場「cusa(キューサ)」 株式会社 横河ブリッジ
	(3)	線状流電陽極ユニット方式電気防食工法「NAKAROD®方式」 株式会社 ナカボーテック
	(4)	ウォータージェット工法を使用した補修技術 株式会社 ケミカル工事
	(5)	湿粒ブラストと気化水溶性防錆剤による塩分除去水洗工法 株式会社 中央コーポレーション
	(6)	CS-21 -30年の実績と追跡調査- 株式会社 アストン
	(7)	渦電流探傷法を用いた地際腐食検査手法の鋼製橋脚地際部への適用事例 日本電測機株式会社
講演	特別講演： 「持続可能な社会へのインフラメンテナンス」 植野インフラマネジメントオフィス代表 富山市政策参与 植野 芳彦	

敬称略